

第6回全国手をつなぐ育成会連合会 熊本大会報告

令和1年11月23日(土)～24日(日) 熊本県熊本市・山鹿市「八千代座」

上越地区・頸北育成会の本人たちが、千両役者になりました！

本人部会「あなたも私も千両役者 山鹿八千代座」の表現活動に参加

上越地区と頸北育成会からスターが誕生しました！熊本大会の本人大会 第4分科会にトップバッターでダンス発表しました。特別支援学校時代に踊ったダンスを覚えていて、大きなステージで素晴らしい発表が出来ました。全国からの参加者さんたちを巻き込み、会場を大いに盛り上げ、拍手喝さいを頂きました。とても楽しかったです。

会場の八千代座は、装飾が素晴らしく見ごたえもありました。昔ながらの栈敷で各育成会の発表を楽しみ、熊本名産のお弁当は美味しかったです。三味線の演奏にスタッフから促され飛び入り参加し、最後は参加者全員でステージに上がって大盛り上がりでした。（機関紙「手をつなぐ2月号」に載っています。）

担当の育成会会長さんは、遠い新潟から来た私たちを歓迎して下さい、帰りには歌舞伎の大きなポスターを（特別に！）プレゼントを頂きました。ステージ発表を通して、本人たちの可能性や自信を持たせることをさせてほしいと、他県の育成会先輩から励ましの言葉を頂きました。普通の人でも出来ない素晴らしい経験は、彼らの人生の宝物になりました。もちろん参加保護者も、わが子の晴れ姿に感動し楽しみました。

私は「生涯学習と多様な働き方」の分科会に参加しました。①企業の障害者雇用担当者が自閉症の特性（間違えない）を活用し、検品が不必要な部品作りには戦力になることなど、学校の実習の大切さ、教育・福祉・企業の連携がうまくいけば、可能性は大きくなると思いました。②卒業後の学びの場「カレッジ」を立ち上げ、社会適応力をもっと身に付けてから就労へつなげる事業には、定着の可能性を感じました。特別支援学校卒業後の学べる場に、全国の保護者から説明会開催の声が多く出ているそうです。③地域が出来なくなったことを障害者が担い「地域とともにある」事業所作り。「C型事業所」と称し、地域にお祭りにスタッフとしての参加他、地域活動の担い手としてつながっていく発表でした。④親として事業所やグループホームを運営し、本人の夢や希望を仕事につなげていく。グループホームの管理者にホームレスの方を採用したら、その方の障害者で利用者になったこと、本人の好きなことを丁寧に聞き取りアパレル業界に就職できたことなど、面白い切り口でした。大きな刺激と、温かいつながりを頂いた熊本大会でした。

